

第1回京都市勧業館指定管理者選定委員会 開催概要

日 時 平成28年6月15日（水）10：00～12：00

場 所 京都市勧業館 第3会議室

出席者 委 員：川北委員長，増谷副委員長，大里委員，各務委員，森委員，小谷委員
事務局：武田産業総務課長，乾課長補佐，吉原

内 容

- 1 委員の紹介
- 2 京都市勧業館 館内視察
- 3 委員長及び副委員長の選任（委員長に川北委員，副委員長に増谷委員を選定）
- 4 京都市勧業館指定管理者募集要項及び審査基準について事務局から説明
- 5 募集要項・審査基準及び審査項目配点について協議

＜協議内容＞

委員：現在の京都市勧業館の管理運営に関して、今後どのようなものであるべきか考え等はあるのか。

京都市：京都市勧業館の運営に関しては、ミュージアムショップ「京紫苑」，美術工芸ギャラリーなど本市の産業政策としての役割をしっかりと果たさせており、勧業館の稼働率も50%に迫る状況となっており、安定した経営状況にある。

こうしたなか、今後、さらに岡崎地域が本市の文化ゾーンとして発展していくときに、何ができるのか、どうあるべきなのかを考えていく必要がある。

委員：地域連携の審査基準内容を少し膨らましたものにするのはどうか。

委員：ふれあい館、ミュージアムショップは、市民にだけ知られていて、美術工芸ギャラリーは、場所を知らなかった。こうしたものPRをどうするのか。また、岡崎全体のPRにつながるような募集要項にならないか。

委員：要綱のP1にこうした地域連携の内容は盛り込まれている。今回は、原案通りの要項としたい。

（全員 異議なし）

※ 審査項目配点については、京都市勧業館指定管理者選定委員会設置要綱第七条の規定により、非公開